

会議結果報告書

令和6年 3月29日

会議の名称	令和5年度 第3回舞鶴市部活動地域移行あり方検討会	
種別	<input type="checkbox"/> 附属機関 <input checked="" type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和6年3月21日(木) 15時～17時	
開催場所	舞鶴市役所別館5階 中会議室	
出席者	舞鶴市部活動地域移行あり方検討会委員11名	
議題	(1) 令和5年度の取組について (2) 国・京都府の動向等について (3) 令和6年度の取組(案)について (4) 意見交換	
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 部分公開	[理由]
傍聴者数	1名	
審議結果 及び 主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度の実証事業の取組で様々なパターンを試したが、やはり活動の受け皿が課題である。 ● 小・中学校と活動の連続性があると良い。さらに高等学校と交流があると、舞鶴市の高等学校の良さを感じて進路決定にも影響するのではないか。 ● 周辺部の中学生は、部活動の種類も少ないが、色々な経験をさせてあげたいという親の声を聴いている。 ● あり方検討会委員が所属する各団体に、どういった形で関わってほしいかを示してもらいたい。 	
会議録の作成様式	<input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約	
備考		

担当課	舞鶴市 教育振興部 学校教育課 TEL (0773) 66 - 1072
-----	---

第3回舞鶴市部活動地域移行あり方検討会 議事録

日 時：令和6年3月21日（木）午後3時～午後5時

場 所：舞鶴市役所別館5階 中会議室

出席者：（敬称略）

役職	出席委員	団体の役職
会長	長積 仁	立命館大学 スポーツ健康科学部 学部長
副会長	福本 浩介	中学校校長会 会長
委員	秋原 栄人	舞鶴市教育委員会指導理事
委員	塩尻 徹	TOMAIスポーツクラブ 代表
委員	白田 誠	舞鶴市スポーツ推進委員連絡協議会 副会長
委員	鈴木 元	舞鶴ちゃったスポーツクラブ 会長
委員	高橋 てる恵	公益財団法人舞鶴文化教育財団 理事
委員	内藤 行雄	一般財団法人舞鶴市スポーツ協会 会長
委員	増茂 祥司	舞鶴市PTA連絡協議会 副会長
委員	松林 周一郎	中学校体育連盟 会長
委員	森 隆	舞鶴市スポーツ少年団 本部長

※今回欠席：田中 美香子（舞鶴文化協会 副会長）

【事務局】教育委員会5名、市民文化環境部6名

【傍聴者】取材1名

会議録：

1. 開会挨拶

2. 議事

- (1) 令和5年度の取組について…事務局から説明
- (2) 国・京都府の動向等について…事務局から説明
- (3) 令和6年度の取組（案）について…事務局から説明
- (4) 意見交換

主な意見は以下のとおり

- 指導者謝礼について、現在国府から委託料が支払われているが、それがなくなるときに持続可能にするための適切な金額を考えていく必要がある。

- 令和5年度様々なパターンで実証事業に取り組んだが、やはり受け皿が課題。実態調査の結果を見ると、土日は休みたいという生徒も多いので、意欲をもって部活動に取り組む子以外の子の受け皿づくりが必要だ。
- 高等学校が地域クラブ活動の受け皿になることで、進路決定にも影響するのではないか。繋がりがあること、舞鶴市の高等学校の良さを感じることができる。
- 過疎地域の部活動はそもそも種類が少なく、子どもたちはめぐり合うチャンスが少ない。親の立場では、地域クラブ活動が学校以外の場所で行われるとなったら、どうやって行けばいいかという不安がある。
- 親の声として、色々な経験をさせてやりたいという声はよく聞いている。
- 指導者の指導力をつける研修などを実施してほしい。
- 検討会の委員が所属する団体に、どういった形で関わってほしいのかを示してほしい。
- インクルーシブな視点を持つ活動を考えてもらいたい。

3. 開会挨拶